

令和5年10月

御中

全国米穀販売事業共済協同組合  
理事長 木村 良

令和5年産米をめぐる米穀流通業界の苦境にご理解を

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当組合の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

全米販（全国米穀販売事業共済協同組合）は、米穀販売事業者およそ150社で構成する米穀流通業界の全国団体です。

昨年10月に「令和4年産米をめぐる米穀流通業界の苦境にご理解を」をご案内させていただきましたが、その後も諸経費の高騰は続いています。加えて令和5年産米の原料代（仕入価格）が高騰しています。当組合では、この機に改めて包装資材等の原料価格や諸経費の変動状況を調査いたしました。その結果を、以下のとおりお知らせさせていただきます。

米穀流通業界の置かれている厳しい状況にご理解を賜りたく、お願い申し上げます。

敬具

【調査結果（要旨）】

令和5年産米 原料代・諸経費が前年同月に比べ増嵩した幅（当組合調べ）

原料代	：精米1kgあたり	25.5～42.6円
輸送費	：精米1kgあたり	1.3～1.7円
電力代	：精米1kgあたり	1.0～1.3円
包装容器代	：精米1kgあたり	1.2～1.6円
人件費	：精米1kgあたり	0.8～1.2円

**合計：精米1kgあたり 29.8～48.4円**

全国米穀販売事業共済協同組合

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15 TEL:03-4334-2100 <https://www.zenbeihan.com>

## 【調査結果（詳細）】

### 原料代 精米 1 kgあたり+25.5~42.6 円

令和5年産米は、2年連続して生産量が抑制されたことにより需給が引き締まり、値上がり傾向にあります。また、生産コストも増加しているため、農協が農家に提示する概算金（買取価格の目安に相当）を上げています。その結果、私どもの原料代（仕入価格）が高騰しています。その値上がり幅は、産地・銘柄ごと相当な差異があるため一概には言えませんが、当組合調べによると、精米 1 kgあたりに換算して前年比+25.5~42.6 円程度になります。

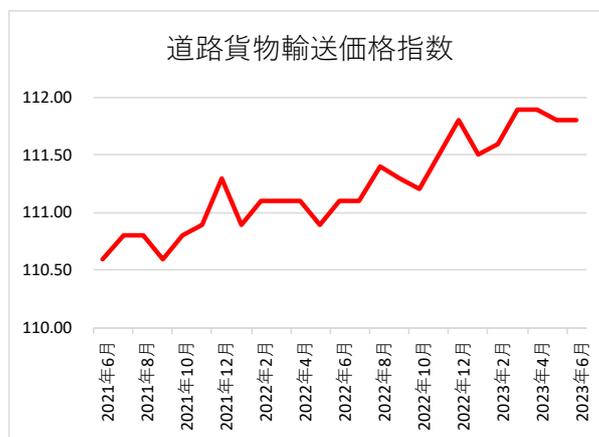


### 輸送費 精米 1 kgあたり+1.26~1.69 円

産地から精米工場、精米工場から実需者などへと輸送が必要になりますが、その輸送費は近年の物流改革、ドライバーの件費上昇などにより上昇が続いています。そしてなにより燃料価格の高騰が止まりません。

この輸送費の上昇、当組合調べによると、現状では精米 1 kgあたりに換算して前年比+1.26

~1.69 円程度になります。ガソリン価格が過去最高値を更新するなか、国の補助もどこまで延長されるか不透明な状況です。また、「物流 2024 年問題」の影響も今後の懸念材料です。



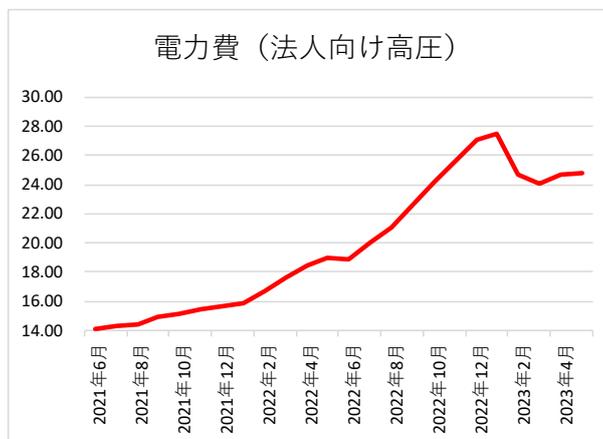
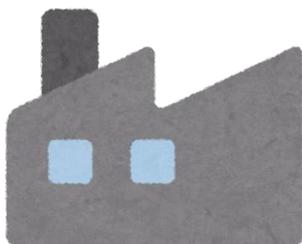
日銀調べ（2015=100）

[https://www.boj.or.jp/statistics/pi/cspi\\_release/index.htm](https://www.boj.or.jp/statistics/pi/cspi_release/index.htm)

### 電力費 精米 1 kgあたり+1.02~1.34 円

精米工場の運用には、相当な電力が必要です。その電力、一昨年初頭から、毎月連続値上りしており、令和5年に入り若干値下がりしましたが、今も高止まりが続いています。

この電力費の上昇、当組合調べによると、精米 1 kgあたりに換算して前年比+1.02~1.34 円程度となります。なお、現状値下がりする見通しはありません。

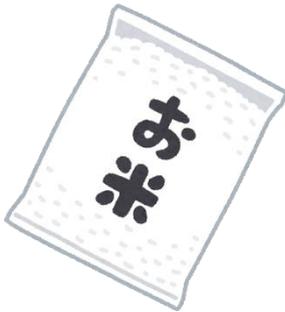


新電力ネット（円/kwh）

<https://pps-net.org/unit>

## 包装容器代 精米 1 kgあたり+1.17~1.57 円

精米製品を店頭に並べる際、パッキング（包装）が必要で、包装容器代がかかります。その米袋の価格は、主原料であるナフサの値動きにほぼ連動すると言われ、ここ数年急騰しました。最近では落ち着いてきたようですが、高止まりしている状況です。



現状では精米 1 kg あたりに換算して前年比+1.17~1.57 円程度になります。



財務省「貿易統計」 (円/kl)

<https://www.customs.go.jp/toukei/info/>

## 人件費 精米 1 kgあたり+0.84~1.15 円

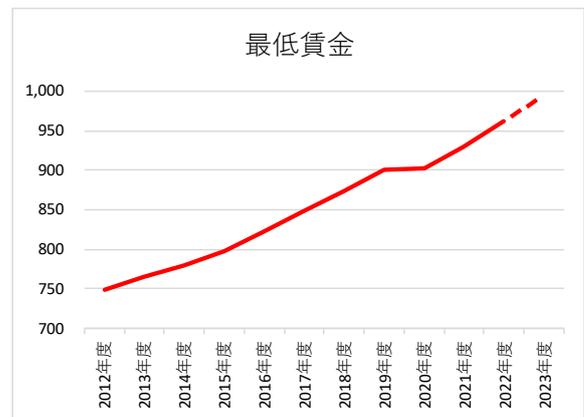
精米工場に限らず、多くの人員が必要です。その人件費、最低賃金が右肩上がりなのは周知の通りです。地域別最低賃金の目安が今年、過去最大幅で引き上げられたところで、全国平均は1,004 円に達する見込みです。

また、人手不足は当業界でも厳しいものとなっており、人材の確保には賃金の引上げを避けられません。



当組合調べによると、現状では精米 1 kg あたりに換算して前年比+0.84

~1.15 円程度になります。政府の賃上げ要請もあり、この上げ幅は今後も拡大する見込みです。



厚生労働省調べ 各年10/1現在、地域別全国平均、時給・円

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000979366.pdf>

## その他

農産物であるお米はその作柄や品質に気候の影響を大きく受けます。

記録的な猛暑で育った令和5年産米には、高温障害の影響が表れています。具体的には、精米に透明感の無い白色が目立つ「粉状質粒」と呼ばれるお米が、多くの産地で発生しました。

その結果、玄米の外観で格付けされる等級仕分けにおいて、最上級の1等米が少なく、次の2等米、そして今年は3等米の発生が非常に多くなりました。等級の差は前述しましたように玄米段階における外観に因る基準です。私どもの精米工程において、これら見た目の悪いお米は取り除きます。この作業に要する時間や電力また除去される低品位米の多さから、例年に比べて精米コストが上昇していることもご報告させていただきます。